

【アンケートに寄せられた声より Part②】

日本共産党市議団の「新型コロナウイルス感染症アンケート」に寄せられた声の一部を、3回に分けて紹介します。

## 「コロナで政治に関心」「天守閣より市民助ける予算を」

### 経営悪化

「コロナの影響で経営が悪化し、人件費削減を余儀なくされている。その結果社員のための経営なので、社員の仕事量がふえた」（26歳ドラッグストア勤務・中区）

「収入は約半分に。その反面、経費が増した。お客様から感染することも恐怖だが、お客様に感染させることも恐怖です。各事業所や店舗、家庭に感染拡大防止を呼びかけるなら、その対策費用（水道代、ハンドソープ、アルコール消毒液など）を一部でも良いので、補償して欲しい」（39歳自営業・北区）

「コロナの影響で派遣先の生産が落ちて契約を打ち切られました。その為、水道光熱費や家賃などの支払いが困難になっています」（48歳・西区）

「新型コロナウイルスで仕事が減りました。残業ありきの会社であるために手取り収入が減り大変です」（27歳製造業・西区）

「海外からの訪日客受入れをメインとした旅行関連の自営業なので仕事が皆無となった。入国解禁されても、訪日客の戻り具合が不確実で不安である。持続化給付金は有りがたく、助かったが、このままの状態が続くなら、更なる対応を希望します」（63歳自営業・西区）

「元々仕事を辞める予定だったのだが、運悪くコロナの流行と重なってしまい、新しい仕事がなかなか見つからない。この状態が続くと苦しい。税金や社会保険料の減免基準をもう少し緩和してほしい」（29歳・西区）

「第2波に向けての自粛と自粛することで不利益を被る人達への補償をお願い致します」（27歳大学教員・北区）

「事業者に対する対策がすべて自粛ベースで、休業に対する補償をしないのは汚いと思う。しっかりと休業補償をして、小規模事業者の支援をしてほしい」（30歳会社員・北区）

「名古屋市は対応が遅い。もっと必要な人にマスクや消毒薬などやお金を与えるべき」（24歳主婦・北区）

### 政治に怒り

「今まで無党派でしたが、コロナ対策で政治に強い関心を持ちました。政府のコロナ対策が信じられない愚策でひどいです。真面目に国民のことを考えられないなら、国会議員など辞めてもらいたい。

国民のことをバカにしている与党も、平気で嘘をつく総理もまったく信頼できません。内閣総辞職を要望します」（42歳会社員）

「国会中継見たら議員さんで寝てる人もおる。舐めるとしか思えない。定額給付金10万ぼっちじゃあ何の足しにもならない。マスクや旅行割引に多額の税金って。当然、仕事が安定しない以上、旅行なんて無理ですし、目先の生活、生きていく為に必死なんです。そんな事に血税は使ってほしくないです」（36歳派遣社員・港区）

「名古屋の河村市長は他の市や他県に比べて市民のための具体的な政策をたてられてない。今後2波3波に備えて感染リスクの不安を解消するためにはすべての国民にPCR検査を行って頂きたいと思います」（43歳サービス業・西区）

「学校が休校中だったため働きに行けなくて収入が大幅に減少した。国の対応は本当に遅いとしみじみ思いました。自治体によって違いがありすぎる。本当に困っているところにもう少し目を向けてほしいと思います」（45歳パート・中川区）

「会社より月4回の特別休暇を取る様言われ（その4日間は6割保障）収入が減った。自民党には本当に期待出来ません」（34歳会社員・東区）

「就職活動を行っていましたがコロナの影響で、一度決まりかかった話も白紙に戻り、動くに動けない状況。現在の仕事も夏までには契約が切れるので焦っています。給付金について1度だけでなく二の矢三の矢が必要。就労支援、消費税廃止、ベーシックインカム導入についても検討してほしい」（49歳学習塾講師・東区）

「とにかく国や市は国民や市民に対する援助が遅すぎる。ひどい国ですね。名城天守閣予算より市民を助ける予算が先ではないですか」（65歳アルバイト・西区）

